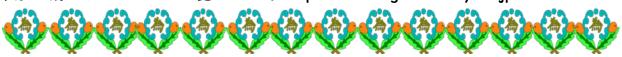
鮮明な画像はホームページでご覧ください。http://www.nagasaki-city.ed.jp/tameshi-e/



為石小学校の合言葉 「ためし 最高! 〜地元で学び 地元を活かし 地元とともに行動する子ども〜」

〇楽しく めあてをもって しっかり学ぶ 〇正しく め 〇たくましく めあてに向かって しっかり鍛える

令和7年Ⅰ0月3日号





## ためし

文責

上久木田

## 少子社会の健全

「少子化が招いたもの」の3回目で す。

そもそも健全とはどんな意味があるの でしょう。検索すれば、

- 1. (身体・精神などが) すこやかで異 常のないさま。
- 2.片寄らず堅実なさま。あぶなげなく 確かなさま。

と説明されています。

一つ目は何となく想像ができる意味だ と思います。私が大切にしたいのは、二 つ目の意味が示す「健全」なのです。

現代社会は情報にあふれ、フィルター バブルやエコーチェンバー現象と言われ る偏った情報のみを受け取る仕組みがで きあがっています。

超情報化社会の中では、自分に都合の 良い情報が真っ先に目の前に何度も現わ れます。

都合の良い意見に対する賛成意見を信 じざるを得ない環境に、知らず知らずに 陥ってしまうのです。

自分が気をつけていても、自分だけは 大丈夫だと思っていても、ついつい信用 するのは都合の良い方になるのです。

片寄らず、あぶなげない確かさを身に 付けることが大変難しい世の中であるこ とに自覚的でなければいけません。

子どもを健全に育てるための環境は、 各家庭ごとに違うはずです。それなのに 多くの情報に惑わされたり、一時のSNS でのやり取りの方を信じ込んだりするこ とはありませんか。

子どもは大切に守られ育まれる権利が あります。その基準は家庭です。私はこ れを「家訓」と呼んでいます。

我が家は我が子を、このような大人に 育てたい

という思いがあるはずです。その思いの ほとんどは、「片寄らず、あぶなげない 確かさ」の中にあるはずです。経験を積 んだ大人が、我が子の成長のためを思っ て考えた対応は「健全」であると私は思 っています。健全な大人への足掛かりと しての声かけをしているはずです。

「自らの人生をかじ取りする力」は、 荒波や帆の破損を経験させるごとに、健 全に育っていくものだと私は信じていま す。

HPはこちら





